

広報部会会員による就業現場レポート(第6回)

# 放置自転車整理詰所を訪ねて

みなさん、街でオレンジ色のベストを着た2人組の人たちを目にされたことはありませんか？放置自転車整理の仕事中の会員さんです。

亀戸、門前仲町、東陽町、豊洲、清澄白河、大島、森下、西大島、東大島、木場の10か所を拠点に74名(男性63名、女性11名)の会員さんが従事しています。

今回は門前仲町の詰所を訪ね、9名の会員さん(全員で13名)からお話をうかがうことができました。その前にリーダーと就業歴6ヶ月の会員さんと一緒に30分程回り、見学をしました。

手元の万歩計で4,500歩、車の往來を避け、細い道を通り抜けどんどん進んでいきました。2人1組2時間の見回りで平均10件程の札をつけるそうです。よく歩き、頭脳も使うことは老化防止に役立つ仕事だと感じました。



取材当日当番の皆さん



通行の妨げにならないよう縦1列で巡回



札付けの様子



放置禁止区域や撤去目について説明

その後、詰所に戻り9名の会員の方々に**5つの質問**をいたしました。皆さん積極的にお話していただきチームの良さがにじみ出ていました。

## 質問1 仕事をしていてやりがいを含め一番良かったことは？

回答1

健康に良い。使命感。道案内などを通して人とのふれあい。史跡などが勉強できる。仲間とのつながり。

質問2

この仕事の大変なところとその対処(解決)方法は？

回答2

雨、風の中での就業や冬の寒さ。朝7時半開始のシフトについたときは、カイロなど防寒対策を万全にしている。



出発前の確認！

質問3

トラブル体験談について

回答3

トラブル回避のために2人組で働いている(1人がトラブルに巻き込まれた時は、もう1人が冷静に対処)。常習者がいて何度も無視されてしまう(特定の店の前など)こともあるが、挨拶をするなどコミュニケーションを取りながらトラブルにならないよう気を付けている。

質問4

リーダーとしての苦勞

回答4

シフトは話し合いながらサブリーダーが作る。リーダーは年度ごとに選挙や話し合いで決めている。



サブリーダーからシフト表の説明

質問5

女性でもできる仕事か？

回答5

ウエルカム！との答え。当日取材に応じてくれた2名の女性も違和感なく働いているとのこと。